

⑰一般社団法人鳥取クリエイティブプラットフォーム(事務局・鳥取市)

演劇や陶芸、芸術祭、美術展など鳥取県内で創造的な活動を行っている団体、個人をつなぐネットワークづくりを展開している。プラットフォームとなるウェブサイトを活用して、団体の交流や相談の場の提供、調査研究、政策提言、イベント情報の発信などに取り組み、鳥取の創造的なアートを全国に発信する。

芸術作品を発表した2014、15年の鳥取藝住祭を契機に16年に結成された鳥取藝住実行委員会が前身。県立美術館の開館を見据



創造的活動つなぎ、発信

創造的活動を相互に支え合う勉強会に参加したティープラットの関係者



え、社会的信用を高めるため、昨年11月に法人化した。鳥取大地域学部の竹内潔准教授(44)が代表理事に就任し、略称は「T P l a t (ティープラット)」。鳥の劇場(鳥取市鹿野町)や西郷工場(鳥取市あまじやく)同市芸の郷あまじやく(同市河原町)、明倫A I R実行委員会(倉吉市)、こつちの大山研究所(大山町)など12団体(発足当初)がネットワークに加わった。

ウェブマガジン「+O+ +Oトット」で会員団体の活動やアートをスポットなどで紹介。市民ライター同士が対話するプラットフォーム「トットログ」を運営している。倉吉市の白壁土蔵群の空き家巡り、まちの本屋を巡る旅など地域に密着した活動を支援した。

県がふるさと納税の仕組みを活用して地域づくり団体を応援する「ギフト鳥」の寄付対象団体にも登録されている。オブザーバー参加の全国ネットワーク「アーツ・カウンシル」を足がかりに、全国に鳥取の創造的活動を発信する方針だ。竹内代表理事は「創り出す人、団体をつなぎ、盛り上げ、背中を押していきたい」と抱負を語る。